

【今年度の結果と取組みについて】

〇●国語●〇

(領域ごと)

- ①言葉の特徴や使い方に関する事項 良好な結果であった
- ②情報の扱い方に関する事項 良好な結果であった
- ③話すこと・聞くこと 大変良好な結果であった
- ④書くこと 概ね良好な結果であった
- ⑤読むこと 良好な結果であった

(問題形式)

- ①選択式 良好な結果であった
- ②短答式 良好な結果であった
- ③記述式 良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

・複数の資料を読み、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて、内容として最も適切なものを選択する問題の正答率が最も高かった。

・図表やグラフなどを用いて、複数の条件を満たして自分の考えが伝わるように書き表す問題の正答率が低かった。

分析

・どの分野についても正答率が高く、良好な結果であった。

・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える正答率が高く、発表や交流形式の学習効果が表れている。

・選択式の問題は、正答率、無回答率ともに良好な結果であったが、日常で使う敬語を理解し、適切な敬語を選ぶ問題では課題が見られた。

・ひらがなで書かれた言葉を、文脈から正しい漢字に書き直す問題の正答率がやや低い傾向にあった。漢字と言葉の意味を結び付けて学習を進める必要がある。

〇●算数●〇

(領域ごと)

- | | |
|---------|-------------|
| ①数と計算 | 大変良好な結果であった |
| ②図形 | 大変良好な結果であった |
| ③変化と関係 | 良好な結果であった |
| ④データの活用 | 大変良好な結果であった |

(問題形式)

- | | |
|------|-------------|
| ①選択式 | 大変良好な結果であった |
| ②短答式 | 良好な結果であった |
| ③記述式 | 大変良好な結果であった |

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

- ・2つの数量について、変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を答える問いが全体の中で最も正答率が高かった。
- ・正三角形の性質を用いて、角の大きさを答える問いの正答率が全体の中で最も正答率が低かった。

分析

- ・どの分野も正答率が高く、良好な結果であった。
- ・記述式の問いに対しての無回答率がほかの形式と比べて高い傾向にあった。
- ・筆算の手順を表した図を見て、各段階の商の意味を答える問題での正答率が高かった。計算の手順の意味や立式の理由などを考える学習効果が表れている。
- ・問題文が長くなると、状況整理や、求められていることの把握が難しくなる傾向にあった。「課題を整理して読み解く」、「図や式と結びつけて考える」といった、過程を重視して学習を進めていく必要がある。
- ・図形に関する問題の正答率は高かったが、書かれているほかの条件から高さを導いて、形の違う三角形の面積の違いを求める問題の正答率が低かった。

○●経年比較●○

全体的な傾向についての分析

- ・正答率は、どちらの教科も良好である。
- ・国語、算数ともに正答率の上昇傾向が見られる。
- ・無回答率についても良好である。国語はここ数年減少傾向にあるが、算数は昨年度の無回答率より増加した。

学力高位層と学力低位層、エンパワー層についての分析

- ・学力高位層は、上昇傾向が見られる。特に国語での上昇傾向が大きい。
- ・学力低位層は、国語算数ともに減少傾向が見られる。
- ・エンパワー層は昨年度の数値より少し増加した。

○●取組み●○

学力向上に関する取組み

- ・低学年、中学年、高学年それぞれで国語科の研究授業に取り組み、研究テーマである「言語活動を通して、自分の思いや考えを適切に書く力の育成」について研究を深めていく。
- ・研究授業、研修を通して外部講師からの指導助言や各学年の取り組みについて共通理解を図る。
- ・モジュール学習を、週に3回朝の時間に取り組む。高学年は、国語科の漢字学習やことばの使い方、読書などを、低、中学年はそれに加えて算数科の四則計算など基礎的な内容の学習に取り組む。
- ・各学年の学習のきまりを系統立て、継続し、1～6年生までの学習環境を統一することで、学習に向かう基本姿勢の定着を図る。
- ・発表の仕方、話の聞き方を教室掲示し、安心して発表できる学習環境をつくる。
- ・児童が自分の考えを書けるよう、導入の工夫や考える時間の確保ができるような授業づくりを研究、実践していく。
- ・学習の最後に振り返りとしてその時間で学んだことなどを自分なりに書く取組みを継続して行う。また、児童が振り返りを考えやすいように「今日の学習でわかったこと」・「友だちの考えでよかったこと」・「今日の学習でおもしろかったこと、もっとやってみたいこと」の3つの視点を提示してすすめる。
- ・月に一回、図書館ボランティアによる読み聞かせを行う。
- ・家庭での自主的な学習の習慣をつけるため、高学年は自主学習に取り組む。
- ・各学年での実践の記録を保存し、系統立てた学習に役立てられるようにする。